

【 第 3 回中標津町自治推進会議報告 】

日 時：令和 6 年 3 月 2 6 日（火） 1 9：0 0～2 1：0 0

場 所：中標津町役場 3 階 3 0 1 会議室

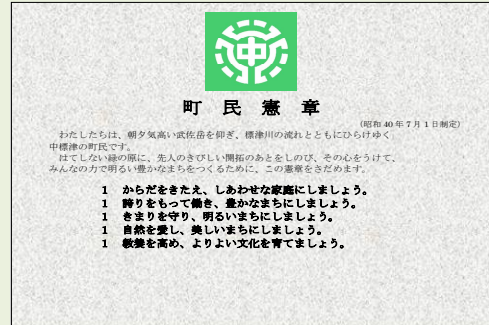
出席者：1 2 名（中標津町自治推進会議委員 5 名、ファシリテーター 1 名、オブザーバー 1 名、事務局 5 名）

傍聴者：4 名

<会議次第>

- 1 開 会
- 2 会 長 挨 拶
- 3 議 題

町民憲章 唱和



- (1) 漫画制作ついて
- (2) 学生（高校生）の参加について
- (3) 町民ファシリテーター登録制度について
- (4) 「中標津町の自治の歩み（仮）」について
- (5) その他

4 閉 会

<配付資料>

- ① 会議資料 1：漫画制作について
- ② 会議資料 2：中標津高等学校生徒会との意見交換会について
- ③ 会議資料 3－1：町民ファシリテーター養成講座 2023 報告書
- ④ 会議資料 3－2：「町民ファシリテーター」制度検討について
- ⑤ 会議資料 4：町のあゆみ・協働のあゆみ

<会議結果報告>

- 1 開 会
- 2 会 長 挨 拶
- 3 議 題

[進行：東田ファシリテーター]



※事務局からの連絡事項

本日、欠席されている中瀬委員は、諸般の事情により退任することになった。

なお、中瀬委員の後任については、計根別町内連合会と中標津町全町内会連合会から推薦いただく予定となっていることを報告する。

※議案に入る前に前回の振り返りと本日の課題確認

(1) 漫画制作について

東田ファシリテーター

漫画制作については、自治基本条例を町民に浸透させるためのコンテンツ、ターゲットを改めて検討するということになっていて、2回目の会議が終わってから中瀬委員が一生懸命動いてくださって、ご提案いただいているので、提案書を事務局から説明いただく。

本間会長

中瀬委員から1月16日に連絡をいただき、翌17日に中瀬委員から説明を受けた。

自治推進会議がなかなか進まないというもどかしさを感じ、自治基本条例の解説書を最初から最後まで5回読んで整理したとのこと。

内容としては、まちづくりのポイントとして、町民が参加するまちづくりに参加するまで情報共有と町民参加と協働の三つの段階があるということ。

まず、ポイントの一つの情報共有は、知るということ。町ではどんなことをしているのか、お知らせを知るとか、議会を傍聴するとか、演説会に参加するなど、自分で情報を捕まえてみるということ。

次に町民参加は、イベントやワークショップ参加し、意見を伝えること。

そして最後に協働、協力するとか参画すること。町内会に参加する、児童の見守りに参加する、河川を清掃するなど、単に夏祭りなどに参加するだけではなくて運営の方に携わるということ。

中瀬さん自身は、漫画にはこだわってなくて、他にも発信する手段があると言っていて、例えばA4の紙1枚お知らせを作るというのもいいのではと、お話されていた。

事務局

<「会議資料1」の説明>



東田ファシリテーター

この提案について、漫画制作のリーダーである鳴海さんにコメントをお願いします。

鳴海委員

前回の会議で「漫画作成は大変だよね」という方向になった。漫画ではなくて別の方法で考えていった方がいいのかなということで、焦点をブラさない形での中瀬さんの提案は貴重で、これに基づいて進めていくのがいいのかなと思う

東田ファシリテーター

中瀬委員が退任されたというこの状況で、これからどうしていくかということについて考えなければならない。まずはこれをありがたく受け止めておくが、来年度中瀬委員の後任となる新しい委員が入ってくる予定となっている中、漫画にするのか、パンフレットにするのか、あるいは新しい他の方法にするのかについて、この場で早急に決定することにはならないのではと思う。

(2) 学生（高校生）の参加について

東田ファシリテーター

次に、学生（高校生）参加について

12月12日に中標津高校総合ビジネス科課題研究発表会を聞いてきてくださったということで、リーダーの箱石さんから感想を聴きたい。

箱石委員

昨年の12月12日の課題研究発表には、自治推進会議から6名で3学年の発表を参観した。

課題研究発表は、3年生が10グループに分かれ、中標津町の各団体と連携協力のもと4月から取り組んだ成果を発表するもの。

当日は、中標津高校の多目的ホールを会場に、10グループから各7分程度で発表がなされ、総合ビジネス科の1年生から3年生と保護者一般の参観の他に審査委員が数名おられ、最優秀賞1組と優秀賞1～2組を選ぶことになっていた。

課題研究の題材は、町商工会との連携で「とく蔵君カードの活用」、観光協会との連携で「ファットバイクのポスターとパンフレット作製」、中標津町役場との連携で「ポイ捨てを減らすポスター」など、身近な題材を選んでおり、教育カリキュラムの一貫とはいえ、中にはかなり踏み込んだ内容のものも見受けられた。

課題研究発表会においては、質疑応答の時間を取っていなかったもので、自治推進会議と高校生との意見交換会については、偶然にもこの課題研究を担当した伊藤先生が生徒会を担当していたことから、その後において生徒会との意見交換会を実現できるかどうか模索することとなり、事務局と伊藤先生で協議を進めているので、それらの経過については事務局から説明があるものと思われる。

事務局

＜「会議資料2」の説明＞

生徒会との意見交換実現に向け伊藤先生と調整することになった。

その中で、伊藤先生から次のとおり提案があった。

「生徒へは「リーダー研修会（意見交換会も含む）」という形をとり、『自治について』をテーマに自治推進会議からどなたかに講演してもらう形をとれば、生徒も学びの場となり、メリットがあると考えます。」

これについては、中標津町の「まちづくり出前講座」の中に「自治基本条例と協働のまちづくり」というメニューがあり、政策推進課が担当している関係から、これで対応したい旨

回答した。

出前講座「自治基本条例と協働のまちづくり」の内容は

- ①スライドによる説明（7分）として、自治基本条例を必要とする背景やどのようにできたのかについて、パワーポイントを使用して説明
- ②DVD視聴（15分）として、中標津町自治基本条例制定記念として作成したDVD「これがまちの憲法だ！」を視聴
- ③資料による説明（8分）として、資料「中標津町自治基本条例 解説書」を使用し、中標津町自治基本条例の概要について説明

を予定する。

そこで、意見交換会においては、生徒と自治推進会議の委員と一緒に上記出前講座を受講し、その後双方の質疑の時間を20分程度設ける。開催時期は、令和6年5月以降、時間帯は放課後の15:40以降、場所は中標津高等学校とする。

以上については、既に伊藤先生の賛同を得られているので、自治推進会議の賛同が得られたら具体的な日程調整を進めるものとする。

東田ファシリテーター

事務局から提案あった。意見交換での質問等先に調整する必要はあるかと思われるが、基本的には、これで進める。

（3）町民ファシリテーター登録制度について

本間会長

＜「会議資料3-1」の説明＞

町民ファシリテーター養成講座を、町のフロンティア事業推進補助金を活用して実施した。

講座の内容としては、人々が違いを受け入れながら関係を構築していく「対話」と、中立的な立場の進行役として参加者の知識、経験や意見を引き出し、合意を得ながら進行していく「会議進行」の技法を学ぶことで、町内各所での話し合いを促進する「町民ファシリテーター」を育成・登録し、「町民が主体の自治（自治基本条例）」を実現するため、学習講座を企画した。

講師には、「特定非営利活動法人きたのわ」から宮本代表（札幌市）と萩原氏（弟子屈町在住）、3日のオンラインに津田氏（伊達市）を招いた。

2021年度に実施した講座と今回の講座で、町民ファシリテーターの登録は一般の町民、町議、行政職員など40人になった。

＜「会議資料3-2」の説明＞

資料は、現状の登録制度と今後中標津町の登録制度にした場合を想定し、メリットとデメリットを記載したもの。

私個人としては、絶対町の登録制度にした方がいいというこだわりはなく、町の登録制度と任意団体の登録制度のメリットデメリットを比較したうえで、中庸の道を視野に入れつつ皆さんと良き道を探っていければいいと考えている。

メリットとしては町の登録制度では、条例とか規則とか要綱で位置づけられ安定するとい

うことと、定期的に講座を実施できるということ。今回の講座は補助金をいただけたので任意団体でも実施できたが、任意団体単独での継続実施は難しい。

また、町が企画・主催するワークショップなどには派遣しやすくなるということがある。

逆に任意団体だと、参加する町民目線の話し合いの組み立てがしやすいということ、また年度途中で計画がどんどん出てきても対応しやすいということがある。

デメリットとしては、町の登録制度だと活動は担当者次第であんまり動かないという可能性もあるのかなということと、町の思惑に動かされるというところがあるのかなと思っている。

任意団体のデメリットとしては、資金の確保に苦勞すること。このため、もしこの団体が解散するということになってしまうと、登録制度自体なくなってしまうこと。

東田ファシリテーター

「町民ファシリテーター制度について」では、ファシリテーター養成講座を開催したという報告と、町民ファシリテーターの登録制度として、町の登録制度がよいのか、任意団体の登録制度がよいのか、あるいはそれらの真ん中の道があるのかということを提案していただいた。

この町民ファシリテーター制度そのものについては、令和6年度に入ってから本格的に話し合っていかなければならないと思っている。

(4) 「中標津町の自治のあゆみ（仮）」について

本間会長

＜「会議資料4」の説明＞

これは、なかしべつ町民活動ネットワークの知っている範囲で作成したもの。これに委員や事務局、また役場の他の部署から協働の取り組みを加えていただければ、「協働の取組はこんなに増えているんだ」ということが見える化できると思い、提案させていただいた。

東田ファシリテーター

記録することで、説明とカステージが変わったことが見えてくる。というわけで、来年度この取り組みを行っていく。

(5) その他

事務局

令和4年度の会議で、今後各年度の会議は年3回ということでスケジュールを割り振った。

しかし、2年間経過したが、壁に当たってなかなか進んでいかないので、令和6年度はこれまでの3回を6回に、そして東田さんは、これまでの2回を4回にして予算を確保した。

東田ファシリテーター

4つの議案がある中、分科会を立ち上げた方がいいのか、あるいはこの会議ですべてのこ

とを話し合った方がいいのか話し合う。もし分科会を立ち上げた場合、全体会議の予算をそちらに振り向けるという事もできる。

ただ、この4つのうち「あゆみ」については、分科会を立ち上げるほどではないと考える。

委員

漫画・パンフレット作成でどう浸透させるかについては、まずこの全体会議で検討して、具体的な方向性が決まった段階で分科会に進めた方がいいのではと思う。ただ、そうすると現実的に1年では難しいのではと考える。

東田ファシリテーター

漫画については、分科会を設けることはできそうにないですね。

また、ファシリテーター登録制度については、これまで町に対し「ファシリテーター登録制度」ができるかと、この会議から聞いたことはない。本間会長や私が色々なところの制度を調べてきて、この会議で話し合おうとしているだけで、まだ、具体的に登録制度についてここで話し合っていない段階である。

委員

分科会を立ち上げるのではなく、これまでのように「あなたは、次の回までにこれをする」というような宿題形式でいいのでは。

東田ファシリテーター

それでは、分科会は立ち上げず、自治推進会議6回ということで進めたい。

委員

年6回ということで、会議は5月から奇数月の開催でいいのでは。

委員

学生参加に係る意見交換について、質問を考える上でDVDやパワーポイントを確認のために事前に見ておきたい。

東田ファシリテーター

DVDについては、アドレスを限定したユーチューブを本間会長に設定願う。

また、パワーポイントは事務局から委員全員に送ってもらう。

それらを観てもらってから、第1回目の会議を迎えるとして、そこで「ここはこうした方がいいのでは」という点についても話し合ってから、意見交換会に臨めればといいと思う。

委員

学校の放課後に学生との意見交換に出て、自治推進会議の2回目はその日の夜に日程を設定するというのはどうか。

東田ファシリテーター

なんとか日程を調整して高校生との意見交換会に出席したい。合わせられない場合は、町民ファシリテーターもいることですし、私がいらない状態で進めていただきたい。

本間会長

「あゆみ」については、私の方で記入用紙を作るので、各自思い出したときに追加して行くという「一人部会形式」で対応願いたい。

委員

以前、広報に自治基本条例解説書を掲載していた経緯があるが、文字だけなので見ない人もいるのではということから、漫画ではどうだという議論になった。

例えば、夏祭り、冬祭りに写真がたくさん載っているが、その写真の1枚分に「これも自治なのです、町民参加ですよ」と記載するという方法もあるのでは。

委員

解説書を広報に載せていたのは、いつ頃か。

事務局

一番最後の掲載は2021年（令和3年）7月号で「その24」として掲載していた。

今後掲載したいということであれば、「連載として、こういう内容で、これくらいのスペースが欲しい」ということが決まっていれば、事前に空けといてもらうことは可能。

例えば、広報5月号に載せるためには原稿を4月上旬に担当係に提出しなければならないので、これからだと6月の掲載に向け文面とか内容を考えていきましょうというのが、最速のスケジュールかもしれない。

委員

タイミング的には、町長選の時に「これも町民参加ですよ」とお祭りの時に合わせやれたら理解しやすいくていいのではと思うが、ゆっくり行きましょう。

逆に9月号でやれば、7月の会議でできるのでいいのでは。

東田ファシリテーター

それでは、7月の会議で話し合うということで進める。

5月の日程は5/29（水）でどうか。

また、宿題として、パワーポイントとDVDをYouTubeで観てから、質問を考えて5月20日までに事務局へメールすること。以上お願いする。

それでは、今日最後の神原さんから感想をお願いする。

神原オズバー

4月1日付の人事異動で、北海道庁に戻るようになった。中標津町への2年間の派遣の中で、皆さんと知り合える機会を得た。

感想として、中瀬委員からも提案あったが、私も15年くらい前に市民参加をどう促すかについて勉強していた。その中で、「豊かな暮らし」というのは「住民の主体的な行動から始まる」、主体的な行動をするには「主張と参加をすることが必要」ということだった。

色々な意見があるが、意見を述べる時は自分事として話さないと、そこに参加とか行動が伴わない。ではどうやって、自分事として受け止めてもらうかということだが、中瀬委員も言及されていたように、まず情報の公開があり、次に町民が参加し、そして3番目は協働である。

今後は、人口減少という大きな課題がある。

これからは複業で一人二役・三役を担っていかなければならない時代になる。また、関係人口の人の取り込み具合で、まちづくりの活力が生まれるということ。そして3つ目は私が携わった外国人との交流で、外国人住民の社会参加が必要になると考える。

事務局

神原主幹におかれましては、令和4年度の第2回会議から出席いただいております。色々とアドバイスをいただき、大変助かりました。ありがとうございました。

なお、事務局につきましては4月の人事異動内示が出ており、奥主事が異動することとなりましたので、合わせてお知らせする。

閉 会



まとめ

(1) 漫画制作について

- ・漫画、パンフレット、その他の方法について、さらに検討する
- ・広報掲載について、7月の会議で話し合う

(2) 学生（高校生）の参加について

- ・「リーダー研修会（意見交換会も含む）」として進める
- ・5/20までに高校生への質問を考える

(3) 町民ファシリテーター登録制度について

- ・町民ファシリテーター登録制度については、新年度本格的に検討する。

(4) 「中標津町の自治のあゆみ（仮）」について

- ・新年度に取り組む

(5) その他

- ・新年度は分科会を設けずに、会議で話し合う
- ・次回令和6年度第1回自治推進会議は5月29日開催